



「開会あいさつ・田畑労働局長」

「働き方改革セミナー」開催結果報告

大阪労働局雇用環境・均等部

大阪労働局と包括連携協定締結金融機関である北おおさか信用金庫の共催で平成 29 年 12 月 15 日（金）、北おおさか信用金庫本部 7 階会議室にて、中小企業を対象とした「働き方改革セミナー」を開催しました（通算 6 回目）。セミナー全体の感想について、アンケート回答者 51 名中、43 名（84.3%）が「非常に良かった」「良かった」と回答を頂きました。

■本セミナーの主な内容

・講演「ワークスタイル変革を促進するテレワーク」

開会宣言、田畑労働局長の開会あいさつに続き、一般社団法人日本テレワーク協会専務理事 中山 洋之 氏からワークスタイル変革を促進するテレワークについて、重要性、概要と効果、先進的導入事例、導入にむけてのアドバイス等のお話をいただきました。

【参考】

[※テレワーク相談センター（厚生労働省相談センター）ホームページ](#)



・取組企業による事例発表（2社）及びパネルディスカッション

株式会社仁張工作所（金属製品・精密板金加工製造業、社員数 108 名）

代表取締役 仁張 正之 氏と総務経理部 坂本 知加恵 氏から

「超過労働時間削減に向けて社員 1 人ひとりが「時間生産性」を意識した取組み」と題して、

- ・長時間労働削減の取組みの背景
- ・平成 28 年度仁張工作所取組事例紹介（大阪労働局平成 28 年度好事例集に掲載）
トップが発信（優先順位の明確化）→適材適所の人事配置→誰が何をやるか明確化
- ・振り返り：改革を可能にした職場文化（モノづくり・人づくりへのこだわり）
- ・活動を通じて学んだこと

- ①会社の考え方・メッセージを明確にする
- ②あきらめずに考え続ける
- ③専門士・アドバイザーの意見を参考に
- ④継続的に改善工夫を続ける

など、取組みについてご説明をいただきました。

【参考】

[※「ワーク・ライフ・バランス推進に向けたワークショップ」好事例集](#)



株式会社プロアシスト（制御機器の設計・開発 社員数 199 人） 代表取締役社長
生駒 京子 氏から「働く事は生きる事 ～プロアシストの事例～」

と題し、ダイバーシティの推進について

- ・「社員の精神的・物質的幸福」、「個人の尊重」を第1に考えた存在要件、経営理念
- ・ダイバーシティ経営の実践、経営理念に賛同された方を社員へ
全社員の約30%が女性、管理職の20%が女性
外国国籍を有する社員が多数在籍
- ・「お客様の成功の為に全力を尽くす」
第1 要望「顧客の要求」→第2 要望「自分の満足」→第3 要望「お客様の満足」
- ・業界のスピードに対応するために異なる視点（グローバルな視点）を持つ社員の育成
- ・ヒューマンスキル（プレゼンテーション、コミュニケーション）向上への取組み
- ・「ゆりかごから墓場まで共に生きる」という考え（社員の子供や家族も社員と同じ）
など、取組みについてご説明いただきました。



事例発表企業 2 社と大阪労働局雇用環境・均等部とのパネルディスカッションを開催、「取組みを行った感想」、「結果が出た秘訣や苦労した点」、「これから働き方改革に取り組む企業に向けてのアドバイス」などについてディスカッションを行いました。

【アンケート結果】（一部抜粋）

アンケート回答者 51 名

質問：今回のセミナーについて（全体の感想）

回答：非常に良かった・・・14名（27.4%）

良かった・・・29名（56.9%）

普通・・・4名（7.8%）

あまり良くなかった・・・0名（0%）

良くなかった・・・0名（0%）

未回答・・・4名（7.8%）

（感想）

- ・テレワーク分かりやすかった。2社の事例もよかった。
- ・特に事例発表がすばらしく感じました。
- ・中小企業の社長様から生の声、会社のいとなみの話が聞けて、大変参考になりました（変わらない事、ダイバーシティマネジメント等）。
- ・異なる業種の事例発表は新しい刺激を受けることができた。

- 経営者の取り組みや苦労した点を直接聞くことができ興味深い内容で勉強になりました
- 会社の事業形態により大きく異なるだろうというのが実感です。当社のように一品一様の製造業にとっては事例発表（仁張工作所）が参考になった。
- テレワーク＝在宅勤務と言う認識だった。サテライト事業所、スペースの設置を検討したい。
- 長期残業を減らすためユーザになにか働きかけたか、この質問がためになりました。キャパをこえる仕事もあきらめずにやる、どんな方法があるかと・・・解決に向うことに感動しました。
- 正味生産性について、どのように考えるべきか・・・と考えさせられました。自社でも「先の予定の見える化」を行いたいと感じました。
- 他部署のアドバイスで生産性が上がったことは印象的でした。違う視点で見ることが大事。
- “制度は使う人が考える”ということについて、自社でも活かそうだと感じました。
- “言い続ける”ことを見習いたいと思った。

■ セミナーの開催概要

- 開催日時 平成29年12月15日（金）13時15分～16時30分
- 会場 北おおさか信用金庫本部 7階会議室
- 内容
 - 1 開会のあいさつ
大阪労働局長 田畑 一雄
 - 2 講演
演題：「ワークスタイル変革を促進するテレワーク」
講演者：一般社団法人日本テレワーク協会専務理事 中山 洋之 氏
 - 3 取組企業による事例発表・パネルディスカッション



- 株式会社仁張工作所
タイトル：「超過労働時間削減に向けて社員1人ひとりが「時間生産性」を意識した取組み」
講演者：代表取締役 仁張 正之 氏 総務経理部 坂本 知加恵 氏
- 株式会社プロアシスト
タイトル：「働く事は生きる事 ～プロアシストの事例～」
講演者：代表取締役社長 生駒 京子 氏
- 事例発表者によるパネルディスカッション

■ 次回（第7回）は平成30年8月に開催予定です。